

2020年11月6日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号: 4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業グループ管理本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <https://www.ibl-japan.co.jp>

営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）において、営業外費用（「持分法による投資損失」及び「為替差損」）及び個別決算の特別損失（「関係会社貸倒引当金繰入額」）の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、2021年3月期第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）において、特別損失（「減損損失」）を計上する見込みとなりましたので、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失(営業外費用)の内容

当社の持分法適用関連会社であります株式会社CUREDの損益の持分割合部分及びのれんの償却を第1四半期連結累計期間に営業外費用の持分法による投資損失として26,392千円計上しておりましたが、2020年4月1日から2020年9月30日に係る期間の同社の損益状況等に鑑み追加で22,932千円計上いたしました。この結果、2021年3月期第2四半期連結累計期間における持分法による投資損失は49,324千円となりました。

2. 為替差損（営業外費用）の内容

第1四半期連結累計期間において、営業外費用の為替差損として、個別決算、連結決算ともに1,621千円を計上いたしました。為替相場の変動により、2021年3月期第2四半期連結累計期間に追加で個別決算、連結決算ともに2,807千円計上いたしました。この結果、2021年3月期第2四半期連結累計期間における為替差損は個別決算、連結決算ともに4,429千円となりました。

これは主として2020年9月末時点で当社グループが保有する外貨建資産を同日の為替相場で評価したことで発生した評価損であります。

3. 完全子会社への資金の貸付に対する貸倒引当金の繰入の内容（個別決算）

2021年3月期第2四半期連結累計期間の個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品に対し資金の貸付を行っている金額について貸倒引当金を計上しておりますが、当連結累計期間の同子会社の財務状況に鑑み、4,433千円を追加で貸倒引当金に繰り入れ、関係会社貸倒引当金繰入額として同額を特別損失に計上いたしました。この結果、当連結累計期間における関係会社貸倒引当金繰入額の額は10,456千円となりました。

なお、上記の関係会社貸倒引当金繰入額は、今後の同社の業績の状況により変動いたします。また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響は

ありません。

4. 減損損失（特別損失）の内容

当社グループは、事業用資産においてはセグメント及び全社の区分を基準にグルーピングを行っております。また、土地の帳簿価額については、固定資産評価額まで減額しております。能額まで減額しております。

今般、当社は本社の駐車場用地として借用していた土地を購入し、この土地に関する固定資産評価額を入手した結果、4,048千円を2021年3月期第3四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上する見込みとなりました。

以上